



一 誠



- よく考え進んで学ぶ子
 - 明るく心の豊かな子
 - じょうぶでたくましい子
- 令和6年4月30日

交通安全の意識は、学校、家庭、地域で育む

校長 佐藤 裕哉

北海道警察本部交通企画課の資料(令和6年3月4日)によると北海道の小学生の歩行中の事故には次のような特徴があるようです。

【歩行者の時】

- 学年別では1年生が最も多い
- 小学生の事故の7割は1～3年生**
- 発生月は11月が最も多く、次に9月が多い
- 時間帯は14～15時台が最も多い、次に7時台
- 登下校中の事故が6割**を占めている
- 道路への飛び出し、横断違反、信号無視などの**子供の側の違反が4割**
- 交差点での発生が特に多い



子供への徹底した指導が必要です

【自転車に乗っているとき】

- 学年別では4年生が最も多く、次に2年生
- 時間帯は15～17時台が多い
- 交差点出会い頭による事故が7割**を占めている
- 発生月は5～8月が高水準、7月が特に多い



上記を踏まえて学校でも交通安全教室を行いました。ご家庭においてもお子様への日常的な交通安全指導をよろしくお願いいたします。

また、交通ルールを守らず、危ない歩き方、自転車の乗り方をしている児童を見かけましたら、**まずはその場で児童へ直接ご指導**いただき、その内容について**学校へご連絡**いただければ、子供たちの命と地域の安全を守ることができると考えます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。